

琉球大学病院が沖縄県で初めて 脳死肝移植実施施設に認定されました

このたび、琉球大学病院が沖縄県で初めての脳死肝移植実施施設に認定されました。

琉球大学病院では、2020年から肝硬変などの肝疾患に対する肝移植医療を行っており、これまで生体肝移植を実施してまいりました。生体肝移植は有効な治療法の一つですが、ドナーとなる方にも手術による身体的負担をお願いする必要があります。

一方、脳死肝移植は、脳出血や交通事故などにより脳死と判定され、ご本人・ご家族の意思に基づいて提供された肝臓を移植する医療です。今回、生体肝移植における実績や体制が評価され、沖縄県内でも脳死肝移植を実施できるようになりました。

これまでは、生体ドナーがいない患者さんについては県外施設へ紹介し、移植治療をお願いしておりましたが、今後は沖縄県内で移植医療を完結できる体制が整います。

日本では現在も生体肝移植が重要な役割を担っており、琉球大学病院でも引き続き取り組んでまいります。その一方で、生体ドナーがいない患者さんに対しても、県内で移植医療を受けていただける新たな選択肢が加わることとなります。患者さんやご家族の精神的・経済的負担の軽減にもつながることが期待されます。

現在、琉球大学病院では脳死下臓器移植として腎臓移植・膵臓移植を実施しておりますが、今回新たに肝移植が加わることとなりました。県内唯一の特定機能病院として、今後も高度医療の提供に努めてまいります。

臓器移植は高度な医療ではありますが、保険適用のある移植医療です。腎不全で透析治療中の方、1型糖尿病で治療を続けておられる方、肝硬変や肝がんなどでお困りの方は、当院へご相談ください。

参考:日本臓器移植ネットワーク 移植施設一覧

<https://www.jotnw.or.jp/facility/list4.php>